# 看護学科 3年前期 専門基礎科目／専門科目

1．看護研究Ⅲ（事例研究）

看護学科　　3 年

| 科目名：　看護研究Ⅲ（事例研究） | 担当教員氏名：<br>〇 山元恵子、〇中田智子、岩城直子、米山美智代、高橋絹代、大橋達子、小倉之子、今川孝枝、横道博子、稲垣尚恵、炭谷英信、泉　朱子 |
|---|---|

| 単　位 | 開講時期（年次・期） | | 科目の区分 | 授業方法 | （卒業要件）必修／選択 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 3年次 | 前期 | 専門科目 | 演習 | 必修 | |

| 実務経験を用いてどのような授業を行っているか： | 臨床での看護管理・教育、職能団体の代表としてのマネジメント力と看護教育経験を活かし、学生、教員が領域実習の受け持ち事例を通して看護のあるべき姿と現実の課題を事例研究として報告できるように教授する。 |
|---|---|

| 授業科目の学習教育目標の概要： | キーワード |
|---|---|
| 臨地実習を通して受け持ち患者の看護実践を通して文献を検索しまとめ、学内で事例研究として報告する。<br>まとめる過程で、看護実践と看護理論との比較や検討を行い自己の看護実践を振り返る。また、看護研究としてまとめ、他者に伝えることを体験し、研究としての体裁と必要性について学ぶ。 | 看護実践、事例の問題解決、理論と実践の統合、論文としての体裁、書き方、発表能力 |

授業における学修の到達目標

| 学習教育目標（卒業認定・学位授与の方針との関連） | 自己形成を進める行動目標（福短マトリックスで示される番号）　1．2．5．6．7．8 |
|---|---|
| A　知識・理解力 | 看護実践の問題を見つけることができる |
| C　論理的思考力 | 理論と実践の統合を目指し思考を深める |
| D　問題解決力 | 看護実践の中の問題に関する解決策を考える |
| E　自己管理力 | 看護実践を研究論文としてまとめることができる |
| H　コミュニケーション力 | 看護実践を言葉にし他者に伝えることができる |

成績評価の基準と方法：　以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

| テスト：　　% | レポート(看護研究論文)：　60　% | 発表：　30% | 実技試験：　　% | その他：　10　%<br>（授業への参加態度や発言） |
|---|---|---|---|---|

特記事項：　成果評価は、論文・ポスターセッション・発表会参加度等を総合得点として指導教員が

アクティブラーニング要素：
課題解決型学習　ディスカッション、ディベート　グループワーク　プレゼンテーション　実習、フィールドワーク

ﾃｽﾄ・ﾚﾎﾟｰﾄ・発表・実技試験等の実施時期：
以下により総合的に評価する。 ※グループワーク参加状況　※事例研究報告書　※プレゼンテーション

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：

| 授　業　計　画 | | 準備学習（予習・復習等） 学習内容 | 学習に必要な時間（分） |
|---|---|---|---|
| 演習30コマの概要 | | 適宜、担当教員から指示を受ける | 適宜、担当教員から指示を受ける |
| ① | 4/8 （水)1時限<br>看護研究Ⅲの全体のガイダンス　・事例研究・発表形等のガイド | 適宜、担当教員から指示を受ける | |
| ②～⑩ | 令和8年4月8日（水）～14日(火)<br>事例の決定と指導教員との打ち合わせ | 適宜、担当教員から指示を受ける | |
| ⑪～⑳ | 事例のまとめ・ポスター作製・ポスター発表の準備 | 適宜、担当教員から指示を受ける | |
| 令和8年4月22 日（水） | ポスター発表日 | 適宜、担当教員から指示を受ける | |
| ㉑-㉚ | 事例研究発表後のアドバイスを加味し、完成させる<br>論文とポスター提出 | 適宜、担当教員から指示を受ける | |
| | | | |
| | | | |

| 使用テキスト：<br>研究Ⅰで使用のテキスト<br>実習で記載した実習記録、患者情報を活用する | その他参考文献など：<br>看護理論や実践報告等の文献を検索、適宜参考にする |
|---|---|

受講上の留意点（担当者からのメッセージ）：
〇担当教員との連絡、報告を緻密に実施、積極的に指導を受け、期限内に提出する。
〇研究倫理を遵守する